

平成25年度 第3回健康づくり審議会議事録

1. 開催日時
平成26年2月3日（月）午後2時～午後3時
2. 開催場所 保健センター2階研修室
3. 出席者
 - (1) 委員
岡本和士委員（会長）、杉山敬委員、森清人委員、鈴木幸男委員、
滝愛委員、坪井明日香委員、鈴木まき委員
 - (2) 事務局
保健センター所長 尾関礼子、保健師主任 牧聡子、保健師 井上友香理
4. 議題
 - (1) あいさつ
 - (2) 議題
 - 1) 第2次とよやま健康づくり21計画（案）について
 - 2) 第2次とよやま健康づくり21計画 概要版（案）について
 - 3) その他
5. 会議資料
 - ・第2次とよやま健康づくり21計画（案）
 - ・第2次とよやま健康づくり21計画 概要版（案）
6. 事業内容（要点筆記）

(1) あいさつ

【事務局】皆さま、こんにちは。今日はお忙しい中、審議会に出席頂きありがとうございます。今日は、“第2次とよやま健康づくり21計画”の最終の会議として検討、決定して頂きたいと思います。

また、概要版についても、ご意見を頂きながら作り上げていく予定でおります。この概要版は、広報と共に全世帯に配布、あとは、健康教育の場で活用していきたいと考えているものです。

それでは、どうぞよろしくお願い致します。

【事務局】会議の進行について [事務局説明]

【会長】では、皆さんよろしくお願ひします。これより議事進行をさせていただきます。

（会議録の署名委員の指名）

まず“議題（1）第2次とよやま健康づくり21計画（案）について”事務局より説明をお願いいたします。

(2) 議題

1) 第2次とよやま健康づくり21計画（案）について

【事務局】

第2次とよやま健康づくり21計画（案）について [事務局説明]

【会長】

皆様の方から、第2次とよやま健康づくり21計画に関するご意見はありますでしょうか。

【委員】

内容については、毎回しっかり審議してきましたし、パブリックコメントもないという事なので、私はこれで良いと思います。

ただ、前回の審議会では、“表紙に町長のあいさつを掲載する”という素案があったと思います。

町長のあいさつはどうなりましたでしょうか。

【事務局】

町長の挨拶を載せる予定でおります。巻頭言として載せさせて頂くつもりです。よろしくお願ひ致します。

【会長】

その方向で、よろしくお願ひいたします。他に、ご質問、ご意見等、ありますでしょうか。この内容で承認頂けますでしょうか。

では、“第2次とよやま健康づくり21計画”は、この形で町長に答申します。

2) 第2次とよやま健康づくり21計画 概要版(案)について

【会長】

では、議題(2)“第2次とよやま健康づくり21計画 概要版(案)について”、実際にカラー版をご覧になり、いかがでしょうか。

【事務局】

第2次とよやま健康づくり21計画 概要版(案)について [事務局説明]

【会長】

ご説明頂きありがとうございます。今の説明の内容で、ご質問・ご指摘ありますでしょうか。

【委員】

まず、“がん”の箇所について。胃がんが多いという事ですが、便の色を見てがんの疑いを発見する方法があります。挿絵などで、「便の色で健康チェックをしましょう」とか、便の色による違いを分かりやすく解説してもらえると良いと思います。

【委員】

“循環器疾患”の箇所も“心臓と血管の病気”などと記載した方が、わかりやすいのではないのでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。

【委員】

これから加えられるのかどうか分かりませんが、最後のページ(p8)に、“糖尿病による合併症”の挿絵がありますが、歯周病も合併症の1つなので、加えてもらいたいです。

【事務局】

加えさせて頂きます。ありがとうございます。

【委員】

“生活習慣の見直し/1. 栄養・食生活”の左下、“1日の塩分摂取量の目標量”について、野菜の1日の摂取量が、手ばかりを例にして、分かりやすく解説してありますが、塩分の摂取量(男性9g、女性7.5g)については、今一つイメージしにくい気がします。例えば、漬物〇〇個分やお茶づけ一杯〇〇グラムなどの記載があると、分かりやすいのではないのでしょうか。

【委員】細かい箇所の指摘になってしまいますが、確認をさせて下さい。私だけではなく、担当者にも確認してあります。“生活習慣の見直し/1. 栄養・食生活”について、“野菜を毎食食べている人が10年前より約半数に減少しています”という文言は、下の表の目標項目(野菜を毎食食べている者の増加)の“現状”の数値を示したもので、成人と高齢者を対象としたものです。しかし、概要版には、子供の野菜を食べる割合の絵があり、人によっては、「子供も減少しているのか」という見方も出来ますので、注釈を付けた方が良いのではないのでしょうか。

“肥満度(BMI)を計算しましょう!”の箇所。例示が、適正体重[病気になりにくい数値]($BMI=60 \div 1.65 \div 1.65=22$)のケースとなっています。肥満度を強調するのであれば、例示をもっと体重の重いケース、BMIを25.2以上にして、「肥満ですよ」という所

を意識付けるのも、1つの方法ではないか、という意見が出ていました。

“3. 休養・こころの健康”について“豊山町の現状”の箇所。“町民の4人に1人がストレスを大いに感じています”と記載されていますが、目標項目の対象が、40歳以上となっていますので、「40歳以上の町民がストレスを・・・」、とした方が適切ではないでしょうか。

“6. 歯科疾患、歯・口の健康”について、“家族でかかりつけ医を作しましょう”の箇所では「家族でかかりつけ歯科医を作しましょう」の方が良いのではないのでしょうか。現在は、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局と、職域で区分されています。記載されている領域なら、“かかりつけ歯科医”が適切と思います。また、その下の注釈、“生活習慣を整えることも、虫歯・歯周病～”の箇所は、「食習慣を整えることも、虫歯・歯周病～」、続いて、“～甘い飲み物のとりかたもダラダラしないように注意しましょう。”は、「～甘い飲み物のとりかたも時間を決めて取りましょう。」というように表現の方が良いという意見が出ていました。

“こんなに怖い！歯周病 歯周病を放置すると・・・”の箇所。“～などを引き起こす原因になります。”とありますが、“原因”と言い切っているのか。「関連があります」程度の方が良いのではないか、という意見がありました。これは、専門医の領域ですが、歯周病と糖尿病との関係もはっきりエビデンス（evidence；証拠、根拠）が出ていますので、“原因”という記載でかまわないかもしれません。

“疾病の発病予防及び重症化予防／1. がん”について、“日本人のためのがん予防法”の箇所。厚生労働省が示しているいろいろながん予防法がありますが、引用元や出典元があれば、明記した方が良いと思います。確認願います。

“2. 循環器疾患”について、“1年に1回は特定健康診断を受診し、～”（右側）とありますが、検査は、特定健康診断だけではないので、「1年に1回は特定健康診断等を受診し、～」との記載も検討した方がよいのではないかと。ただ、“等”と付けた事によって、「特定健康診査を受診して下さい」というメッセージ力が弱くなってしまう可能性もあります。審議が必要と思います。

【会長】

委員より色々ご指摘頂きました。他の委員の方、いかがでしょうか。

【委員】

学問的エビデンスに照らし合わせると、こういった文章は難しいと思います。今、おっしゃったような指摘が妥当だとすれば、修正した方が良いと思います。

【会長】

“かかりつけ医”→「かかりつけ歯科医」、「ダラダラ」→「時間を決めて」に変更してはどうか、という提案がありました・・・

【委員】

“生活習慣を整える～”→「食習慣を整える～」と限定するという意見もありましたね。

【委員】

個人的意見としては、住民に与える印象が重要と考えているので、“～を引き起こす原因になります”の方が良いのではないかと。やはり、パンフレットというのは、住民に対する啓発・意識付けの役割もあります。住民に対し、意識を向上し行動に移してもらう為には、原案でも良いと考えております。ただ、住民から「100%の因果関係があるのか」という指摘への対応としての対案として、「～との関連があります」という案が出ています。

【会長】

いかがいたしましょうか。

【委員】

「確立的には高いが、100%ではない」という意味で、「～を引き起こす原因にもなりえます」、という、少し柔らかい表現にしてはどうでしょうか。

【委員】

あとは、文言の正確性を重視する人に対して、事務局としての方針があれば良いと思います。

【会長】

事務局いかがですか。少し表現を柔らかくするという事で、委員より提案して頂きました、「～を引き起こす原因にもなりえます」という表現でよろしいでしょうか。

【事務局】

では、それで訂正させていただきます。

【会長】

特定健康診査を含めて、「健康診査」とした方が良いのか。原案では、“健康診査”と“特定健康診査”となっていますが、どちらをメインとするかだと思います。

【委員】

すいません。先ほど指摘された箇所は、“年に1度は健康診査を受けよう！”なのか、それとも、“1年に1回は特定健康診断を受診し、自身の～”の部分のどちらでしょうか。

【委員】

私が指摘したのは、p7 右側の部分です。特定健康診査というのは、国が決めた制度で、40歳～74歳までが対象です。国民健康保険を運営する町の立場からすると、このような表現になるとは思いますが、人によっては、人間ドックを受診し、特定健康診査を受診しない方もいます。また、75歳以上の方の健康診査もあります。全住民を対象に考えるのであれば、「特定健康診断等」としておいた方が良いと思います。

【事務局】

“2.循環器疾患”の見出しに“年に1度は健康診査を受けよう！”と記載しておりますので、ご指摘の箇所は、“特定”の文言を削除し、「1年1回は、健康診査を受診し、自身の～」という表現ではどうでしょうか。

【会長】

今の事務局からの提案についてはいかがでしょうか。メタボリックシンドロームに関する検査となると、「特定健康診査」という表現になりますので、“メタボリックシンドロームを知っていますか？”の内容だけにした方が良いのではないのでしょうか。

【事務局】

メタボリックシンドロームに関する健診は特定健康診査で行っていますので、概要版（案）では、“1年に1回は特定健康診断を受診し、～”として明記しました。しかし、今、委員よりご指摘がありましたように、現在色んな健診があり、それらの検査でもメタボの方を拾えていると思いますので、“特定健康診査等”が良いかと思います。

【会長】

いかがでしょうか。

【委員】

文字数の考慮も必要ですが、循環器疾患の課題というものがあり、その為には、メタボリックシンドロームについては明記しないといけないと思います。原案では、“メタボリックシンドロームを知っていますか？”という部分があって、その下に、診断基準なども細かく説明され、データの記載もありますので、これを読めばメタボリックシンドロームについて分かります。しかし、最終的には、メタボリックシンドロームについて

知ってもらい、特定健康診査を受診してもらう事で解決すると思いますので、削除してよいのかどうかの判断は難しいです。つまり、メタボリックシンドロームについて知ってもらって、結果として1年に1回の健診を受けて、初めてメタボリックシンドロームを知って頂けた事になると思います。循環器疾患については、“1年に1回の健康診査を受けよう！”というまとめで良いのかもしれませんが、メタボリックシンドロームについては、特定健康診査を受けてもらって完結するものだと思います。

【会長】

「1年に1回は健康診断を受診し、自身の～」でも良い様な気がしますが、いかがですか。

【委員】

でも、特定健康診査の受診率を上げたいですね。

【委員】

そうですね。

【委員】

そうすると、特定健康診査という言葉を使いたいですね。「1年に1回の特定健康診査は受けましょう」とか。受診率を上げる事は重要です。この件とは関係ありませんが、特定健康診査の実施日が近ければ、そちらの受診を促すといった医者サイドの考え方も大事です。そういった考え方がいるのであれば、特定健康診査の受診率を上げる為に、原案の書き方でも問題ないし、私は、「1年に1回の～」の方が良いと思います。

【委員】

町としては、特定健康診査の受診率が低いと後期高齢者医療制度へ支出される支援金の増額を課されるペナルティがあり、結果的に保険料を上げざるを得なくなるので（医療保険からの「支援金」としての支出金が増えるため）、なるべく受診してもらいたいと考えていると思いますし、また、自分自身の健康状態を把握し自覚する為にも健康診査を受けてもらい、町民自身の健康意識向上を図る意図があると思います。

私は、健診の受診率向上を促進する文章の記載は良いと思っています。ただ、先ほど事務局が言われた「健康診査」とすれば、すべての町民を対象に含み、30代や75歳以上の高齢者も配慮した表現となりますが、町民に特定健診受診への意識付けがしたいのなら、「特定健康診査等」としてはどうでしょうか。どちらが良いかは、事務局サイドの判断だと思います。

【委員】

「健康診査（特定健康診査を含む）」（はどうでしょう）

【委員】

確かに、特定健康診査の受診率向上の為に町としては、未受診の方への再通知やPRをしておりますが、なかなか成果を得られていません。そこで、この計画策定の機会に住民意識を啓発し、受診率向上につなげる狙いもあると思いますので、あとは、事務局の判断で良いと考えます。

【委員】

カッコして表現すれば、部分的になり多くの人を対象とする事ができると思います。

【事務局】

いただいた意見を参考にし、「1年に1回は特定健康診査等を受診し、自身の健康状態を確認しましょう」という案でいかがでしょうか。

【委員】

もう1ついいでしょうか。特定健康診査の受診率はもちろん上がってほしいですが、受診された方に、健診結果として保健指導をする終了率（特定保健指導終了率）については、豊山町は愛知県内のベスト5に入っていたと思います。この“42.4%”は、す

ごく良い数字です。もっと上がっていけば、それにこしたことはないと思いますが、「豊山町はいい成績である」という事がアピールできると良いですね。

【会長】

「(愛知県内第3位)」というような明記は、良いかもしれませんが、皆が「豊山町は良い」と思える。

【委員】

終了率は、年度毎の積極的・動機付け支援を6ヶ月実施した成績です。おそらく、他の自治体と比較して豊山町は、特定保健指導対象者が少ないので、毎年の終了率が大きく変化します。平成23年度は愛知県平均と比較すると42.4%と高率でありましたが、終了者数が少ない年は大きく落ち込む危険があると思います。

【委員】

豊山町の3位という順位は、すごいと思います。

【会長】

「(平成23年、愛知県内第3位)」と記載すれば良いと思います。

【委員】

そうですね。常に同じ順位であるかどうかは分かりませんから。

【委員】

10年計画の概要版ですので、「単年度の評価だけで良いのか」は判断が難しいと思います。

【会長】

そうですね。その辺りを、再度、事務局の方で確認願います。

【事務局】

検討させていただきます。

【会長】

少し、よろしいですか。“生活習慣の見直し”の“朝食を食べて朝から元気！”の箇所。“ブドウ糖を朝食でしっかり補給すると～”と記載されていますが、“ブドウ糖を～”とすると、少し違う方向になる気がします。確かに、記載されている内容は大事な事ですが、糖質制限などがある場合はどうなるのか。「どんなケースでも、この内容で良いのか」という話が出てくると思います。ブドウ糖をしっかりと取るのではなく朝ごはんをしっかりと取る事が重要だと思いますので、「朝ごはんをバランスよくしっかりと食べることで、活動でき、集中力がアップします。」というような感じに変更した方が良いと思うのですが、いかがでしょうか。

【委員】

しかし、糖質を取らないと脳が働かないです。小さな子供が、糖質摂取を余りにもカットしてしまうと、学習する時にエネルギー不足となるので、やはり、糖質は必要ではないでしょうか。

【会長】

「糖質制限」などがよく言われていますので・・・

【委員】

反対に、ごはんをあまり食べない方が心配です。

【会長】

最初のエネルギーですからね。

【委員】

「炭水化物」という言葉のイメージが良くないので削除してはどうですか。

【会長】

では「炭水化物」という文言を削除するという事でよろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【会長】

あと、“5. 飲酒”の箇所。“妊娠中のアルコールは危険です！！”と“妊娠中は飲酒を控えよう！”とあり、言葉の表現がよくないような気がします。「妊娠中の飲酒は危険！」と訂正した方が良くと思います。

【委員】

あと、収縮期血圧と拡張期血圧の数値が、メタボリックシンドロームと高血圧の診断の違いによって異なっています。数値が異なると戸惑う可能性があります。注釈を付けてはどうでしょうか。

【会長】

両数値の整合性ですね。

【委員】

今まで、文句ばかり言っていましたが、総合的にはかわいらしい人物イラストの使用やテーマ別の配色を使用して統一感があり、読みやすいです。住民に「頑張る意欲を出させる」内容と思えました。

【会長】

ポイントでまとめてあるので、非常にわかりやすい。最後にもう一点。“4. COPD”について。“ゼーゼー・ヒューヒューの病気です”とありますが、喘息の印象になってしまいます。“COPD とは？”と、解説はされていますが、これを読むと“ゼーゼー・ヒューヒュー”を、喘息と認識してしまいます。ここの表現を、わかりやすい文言に変更された方が良く思います。他の委員の方は、いかがでしょうか。

【事務局】

はい。

【会長】

では、再度、皆さんに読んで頂きまして、ご指摘・ご意見などありましたら、2月中旬までに事務局の方にお寄せ下さい。よろしくお願い致します。

(3) その他

【会長】

“議題(3) その他”に移ります。事務局の方で何かありますでしょうか。

【事務局】

色々ご検討頂き、ありがとうございました。住民の方に少しでもやる気になってもらえるような概要版にしたいと思います。また、ご意見等あればよろしくお願い致します。本年度の審議会は、本日で終了となります。活発なご審議ありがとうございました。

【会長】

皆さん、ご協力ありがとうございました。またよろしくお願い致します。

議事録の署名

平成26年2月25日

岡 本 和 士

滝 愛

鈴 木 ま き